

連結貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

自治体名: 静岡県後期高齢者医療広域連合

会計: 連結会計

(単位: 千円)

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	24,894	固定負債	45
有形固定資産	17,269	地方債等	-
事業用資産	-	長期未払金	-
土地	-	退職手当引当金	45
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	-	その他	-
建物減価償却累計額	-	流動負債	64
工作物	-	1年内償還予定地方債等	-
工作物減価償却累計額	-	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	4
航空機	-	預り金	60
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	109
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	-	固定資産等形成分	88,187
インフラ資産	-	余剰分(不足分)	13,183,494
土地	-	他団体出資等分	-
建物	-		
建物減価償却累計額	-		
工作物	-		
工作物減価償却累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	-		
物品	17,640		
物品減価償却累計額	-371		
無形固定資産	5,886		
ソフトウェア	5,886		
その他	-		
投資その他の資産	1,738		
投資及び出資金	-		
有価証券	-		
出資金	-		
その他	-		
長期延滞債権	-		
長期貸付金	-		
基金	1,738		
減債基金	-		
その他	1,738		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
流動資産	13,246,896		
現金預金	12,193,624		
未収金	990,056		
短期貸付金	-		
基金	63,293		
財政調整基金	63,293		
減債基金	-		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-77		
繰延資産	-	純資産合計	13,271,681
資産合計	13,271,790	負債及び純資産合計	13,271,790

連結行政コスト計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

自治体名：静岡県後期高齢者医療広域連合

会計：連結会計

(単位：千円)

科目名	金額
経常費用	410,146,653
業務費用	8,131,510
人件費	16,706
職員給与費	46
賞与等引当金繰入額	4
退職手当引当金繰入額	2
その他	16,654
物件費等	2,784,793
物件費	2,784,444
維持補修費	163
減価償却費	185
その他	-
その他の業務費用	5,330,011
支払利息	-
徴収不能引当金繰入額	77
その他	5,329,933
移転費用	402,015,144
補助金等	597,128
社会保障給付	401,402,466
その他	15,550
経常収益	783,612
使用料及び手数料	-
その他	783,612
純経常行政コスト	409,363,041
臨時損失	-
災害復旧事業費	-
資産除売却損	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	-
資産売却益	-
その他	-
純行政コスト	409,363,041

連結純資産変動計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

自治体名:静岡県後期高齢者医療広域連合

会計:連結会計

(単位:千円)

科目名	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	9,388,549	65,656	9,322,892	
純行政コスト(△)	-409,363,041		-409,363,041	
財源	413,246,059		413,246,059	
税収等	243,829,323		243,829,323	
国県等補助金	169,416,737		169,416,737	
本年度差額	3,883,018		3,883,018	
固定資産等の変動(内部変動)		22,414	-22,414	
有形固定資産等の増加		22,599	-22,599	
有形固定資産等の減少		-185	185	
貸付金・基金等の増加		1	-1	
貸付金・基金等の減少				
資産評価差額				
無償所管換等				
他団体出資等分の増加		-		
他団体出資等分の減少		-		
比例連結割合変更に伴う差額	114	116	-2	
その他				-
本年度純資産変動額	3,883,132	22,530	3,860,602	
本年度末純資産残高	13,271,681	88,187	13,183,494	

連結資金収支計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

自治体名: 静岡県後期高齢者医療広域連合

会計: 連結会計

(単位: 千円)

科目名	金額
【業務活動収支】	
業務支出	410,146,175
業務費用支出	8,131,031
人件費支出	16,704
物件費等支出	2,784,608
支払利息支出	-
その他の支出	5,329,720
移転費用支出	402,015,144
補助金等支出	597,128
社会保障給付支出	401,402,466
その他の支出	15,550
業務収入	414,080,822
税込等収入	243,829,323
国県等補助金収入	169,416,737
使用料及び手数料収入	-
その他の収入	834,763
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	3,934,647
【投資活動収支】	
投資活動支出	22,600
公共施設等整備費支出	22,599
基金積立金支出	1
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	-
国県等補助金収入	-
基金取崩収入	-
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	-
その他の収入	-
投資活動収支	-22,600
【財務活動収支】	
財務活動支出	-
地方債等償還支出	-
その他の支出	-
財務活動収入	-
地方債等発行収入	-
その他の収入	-
財務活動収支	-
本年度資金収支額	3,912,047
前年度末資金残高	8,281,516
比例連結割合変更に伴う差額	2
本年度末資金残高	12,193,565
前年度末歳計外現金残高	44
本年度歳計外現金増減額	16
本年度末歳計外現金残高	60
本年度末現金預金残高	12,193,624

注記

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

- ①有形固定資産・・・取得原価
- ②無形固定資産・・・取得原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

物品 5年

- ②無形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法

ソフトウェアについては、当組合における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。

- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

- ①徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不能欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

長期延滞債権については、過去5年間の平均不能欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

- ②退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

- ③損失補償等引当金

該当事項なし

- ④賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤労手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

- ①ファイナンス・リース取引

ア. 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除く）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ. ア. 以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

- ②オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（当組合資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 重要な会計方針の変更等

該当事項なし

3. 重要な後発事象

該当事項なし

4. 偶発債務

該当事項なし

5. 追加情報

(1) 連結対象団体

団体名	区分	連結の方法	比例連結割合
静岡県市町総合事務組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	0.30%

一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。

静岡県市町総合事務組合は、非常勤職員公務災害補償事務区分のみ比例連結しております。

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の係数をもって会計年度末の係数としています。

(3) 表示単位未満の取扱い

千円未満を四捨五入して表示しているため、合計額が一致しない場合があります。